

成果指標				
成果指標	成年後見制度により市長申立てを行った件数			
指標設定の考え方	申し立て内容及び経緯等の把握及び申し立て件数			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	2件	2件	2件	0
実 績	0件	1件	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	家族や親族の援助が得られない高齢者が増えており、市長申立の事案も増加すると思われるため、引き続き成年後見制度利用支援事業は必要であると考えます。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	2	
課題認識	家族や親族の援助が得られない高齢者が成年後見制度を利用するための事業である。援助が得られない高齢者はこれからも増加することが見込まれ、市長申立の事案も増加すると思われる。制度上、この事業を効率的に進めることは困難であるが、早期に対応できるよう取り組む必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	